

6年生

展覧会の様子

今年度の展覧会は校舎内、教室廊下前で、平面作品のみの展示となりました。子供たちの「わくわく」がつまった作品が校舎内を彩り、鑑賞の時間には、「これが好きだなあ!」「これってどうやってつくったんだろう」という子供たちの感動の声が聞こえてきました。

6年生の作品「はじまりの花」「すてきな凸凹(でこぼこ)絵画」、共同製作「オモイダマ」の一部をご紹介します。

「はじまりの花」

「6年生になった今の気持ちを考えてみよう!」いつもとは違ったスタートをきった今年の6年生。わくわくする気持ち、不安な気持ち、様々な気持ちを抱えている今の自分を見つめ、それに合わせた形や色を考えながら花を表しました。まずは自分画用紙をつくるところから。色の重ね方や筆のタッチを工夫して、自分の思いを詰め込みました。

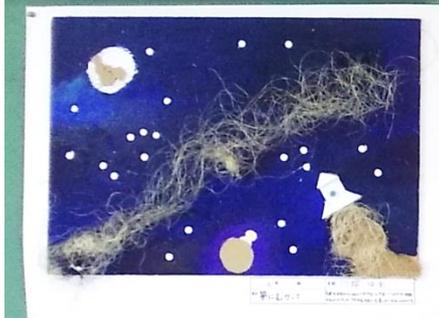
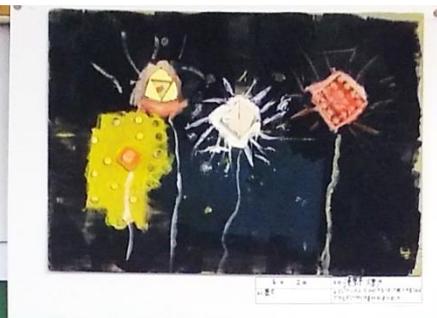
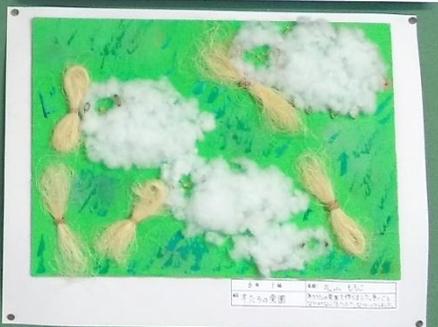




「すてきな凸凹絵画」

木片、段ボール、麻紐、麻布、紙バンド…様々な材料の手触りや特徴、微妙な色の違いを味わいながら、板段ボールに自分だけの物語を広げました。ただ貼るだけでなく、組み合わせ方や加工の仕方を考えて、電動糸鋸盤で切ったり、絵の具と接着剤をまぜたり…これまでの経験を生かしながら、凸凹から広がった一人一人の思いを感じてみてください。





共同作品「オモイダマ」

例年よりも制限が多く、できないことが多い中でも、6年生はそれぞれに思い、悩み、考え、未来に向けて希望をもって進んでいきます。自分たちが卒業に向けて大切にしたい思いを作品に込めて、材料や表し方を考えながらアイデアを出し合って表しました。たくさんのオモイダマが浮かんでいる壁画前、一つ一つの思いにご注目ください。

